

農業技術 プリズム

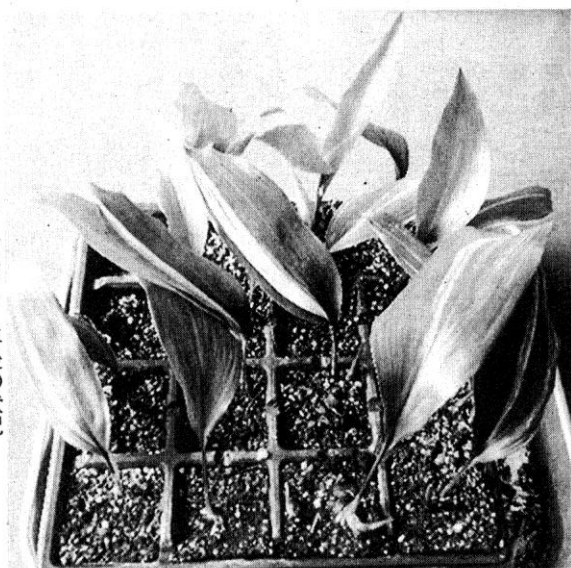
シマハランの新たな増やし方

地下茎を「1節挿し」 苗の大量生産可能に

シマハランは白いふ入りのハランで商品価値が高く、料理の下に敷く搔敷（かいし

き）や生け花に活用されます。その生産現場では、ふ入りの葉を持たないアオハランが増殖しており、原因を調査したところ、シマハランの実生苗がアオハランとなる確率が約93%と高く、実生によりアオハランが増えていることが分かりました。このため、商品価値が高いシマハランを増やしていく取り組みが必要です。しかし、従来の株分けでは、一度に多くの苗を生産することができません。

そこで、シマハランを大量に増やす新たな方法として、「1節挿し」を提案します。この「1節挿し」とは、葉を落とした地下茎を1節ごとに切り分け、それぞれに新芽を発生させる方法です。この方法をを用いると、80%以上の活着率でシマハランの増殖が可能です。「1節挿し」の1年後の葉は通常収穫される葉より小さいため、ミニ観葉植物として鉢物生産に役立つことも可能です。一方で、葉物としての収穫には数年を要します。今後、林間栽培で利用するための検討を進めます。



新芽の1節挿し1年後の状況

(県農林技術開発センター) 森林研究部門 主任研究員 鎌田政諒